

2020年09月10日

2021年1月期 第2四半期決算および通期業績見直し修正を発表

株式会社ネオジャパン（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：齋藤 晶議）は、本日2021年1月期第2四半期決算および通期業績見直しの修正を発表しました。

1. 2021年1月期 第2四半期決算 連結業績概要

(百万円)

	2021年1月期 2Q累計実績
売上高	2,621
営業利益	569
（営業利益率）	(21.7%)
経常利益	585
（経常利益率）	(22.3%)
親会社株主に帰属する当期純利益	397
（当期純利益率）	(15.1%)

売上は、新型コロナウイルス感染症拡大により、営業活動が大きな制約を受けるなど厳しい環境ではあったものの、概ね計画通りで推移しました。

一方、販売促進イベントや広告宣伝活動に関連する予算の未消化が積み重なった結果、利益面では計画以上の進捗となっています。

2. 2021年1月期 通期連結業績見直しの修正

(百万円)

	期初予想 (3/13公表)	今回修正予想 (9/10公表)	(増減)	(同率)
売上高	5,331	5,331	(0)	(0.0%)
営業利益	540	700	(+160)	(+29.6%)
（営業利益率）	(10.1%)	(13.1%)	(+3.0%)	
経常利益	560	720	(+160)	(+28.6%)
（経常利益率）	(10.5%)	(13.5%)	(+3.0%)	
親会社株主に帰属する当期純利益	352	500	(+148)	(+42.0%)
（当期純利益率）	(6.6%)	(9.4%)	(+2.8%)	

依然として拡大が続く新型コロナウイルス感染症の影響から、事業環境が不透明さを増す中、売上の見通しについては慎重に考えており、通期の予想を据え置きます。

利益については、第2四半期までの進捗も踏まえ、前年度実績並みの水準まで通期の見通しを引き上げる一方、これと並行して、今後の持続的な成長に向けた先行投資を積極化します。

この先行的な成長投資に関する考え方について、社長の齋藤は次のように述べています。

➤ ニューノーマル時代を迎える今のような環境の時にこそ、SDGsへの貢献も意識しながら、企業体質の強化を積極的に進め、社会から信頼される存在としての基盤を固めたいと考えています。

➤ これまでも大切にしてきた『社会の役に立つ製品を生み出し、満足度高く提供し続ける』ことに加え、これらの製品をより多くのユーザーに使っていただくチャンスを増やしていくことで、更なる飛躍を目指します。

そのための重要な課題の一つが、会社の認知度やブランド力の向上であると考えており、この下期は、この課題に従来と異なるアングルから思い切って取り組みます。

この他にも、社員の能力開発や優秀な人財の採用など『ヒトへの投資』や、海外を含めた『新たなビジネスフィールドの開拓』なども積極的に進めます。

なお、配当予想に修正はありません。

当社決算の詳細については、以下より資料をダウンロードいただけます。

リンク：<https://www.neo.co.jp/ir/news.html>

【会社概要】

会社名：株式会社ネオジャパン（コード：3921、東証第一部）

代表者：代表取締役社長 齋藤 晶議

所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー10F

営業所：大阪、名古屋

設立：1992年2月29日

URL：<https://www.neo.co.jp/>

■本プレスリリースに関する報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社ネオジャパン

担当：広報・IR 黒川美穂子・宮川美晴

TEL：045-640-5917

FAX：045-640-5918